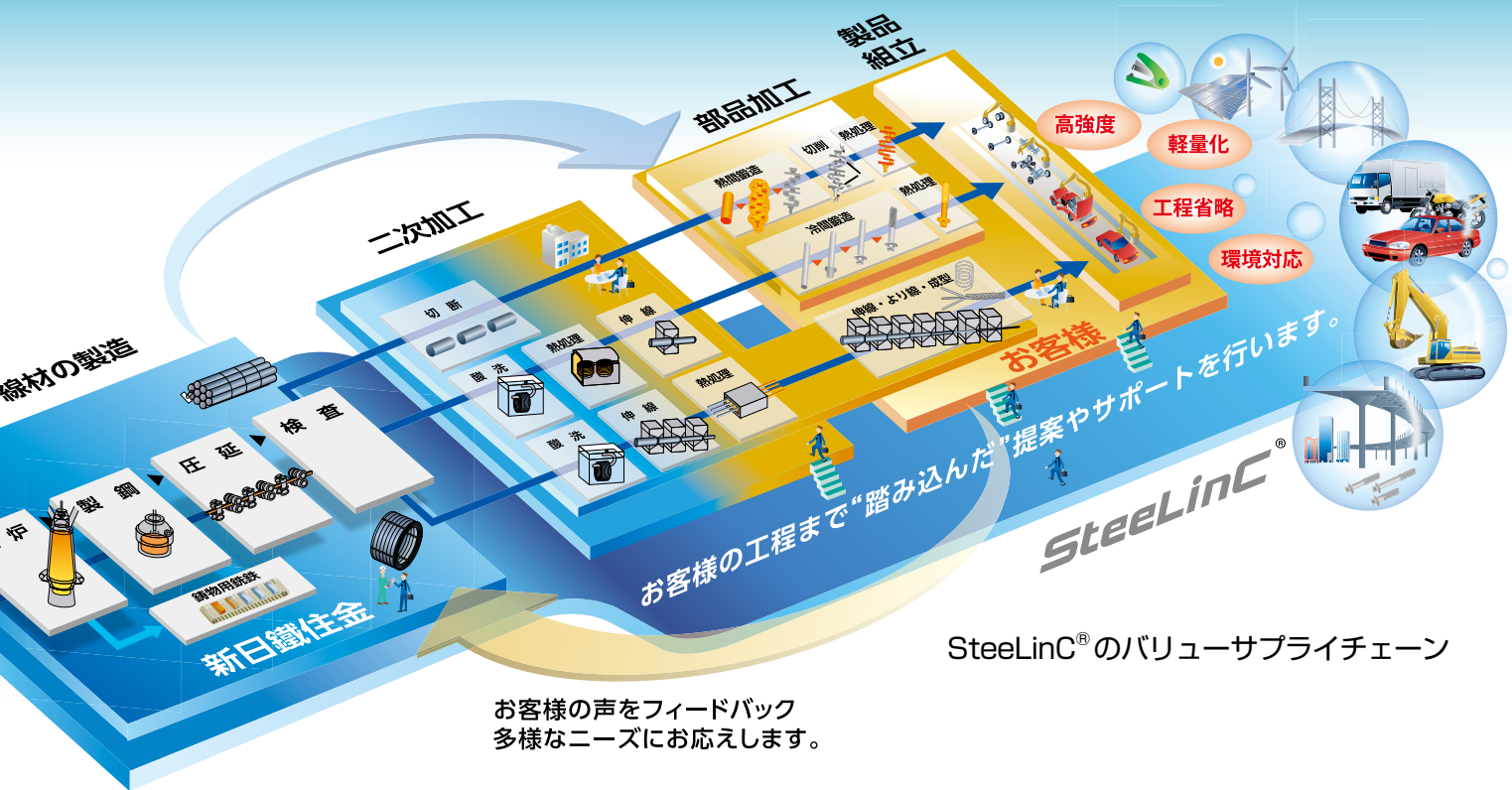




新日鉄住金の棒線事業ブランド

スティーリンク



SteelLinC®

NEW STEEL AGE

棒線(棒鋼・線材)は鍛造、切削、熱処理、伸線などの工程を経て部品へと加工され、最終的には、自動車や建築・土木、産業機械や電気製品など、非常に幅広い分野で使用されます。それぞれの用途や部品形状、加工方法によって、棒線に求められる品質や機能は多種多様。新日鉄住金は棒線事業ブランド「SteelLinC®」(スティーリンク)を立ち上げ、長年培ってきたものづくりの力をベースに、お客様のニーズにお応えできる、優れた商品・サービスや、さまざまなソリューション技術のご提案を行っています。

素材と加工のきめ細かな連携



SteelLinC®とはSteel(新日鉄住金の棒線)、Link(つながり)、Customer(お客様)を組み合わせでつくった言葉です。新日鉄住金の棒線をお使いいただいているお客様とのものづくりの絆を大切にし、世界最先端の棒線商品の提供や、鋼材と工法の組み合わせによる価値創造などを通じて、お客様の製品価値や生産性の向上に貢献し、私たちの暮らしや社会の安心・安全を支えたいという想いが込められています。素材と加工のきめ細かな連携によって結ばれているSteelLinC®のバリューサプライチェーン。そのネットワークは、日本国内だけにとどまらず、欧米やアジアの世界主要地域に広がっています。

SteelLinC®を支える3つの要素

棒線事業のブランド化によって、これまで以上に新日鉄住金は部品形状や加工方法に適した棒線商品の開発・安定供給に取り組んでいます。そして新日鉄住金のソリューション技術を活用し、二次加工以降のメーカーの課題の解決促進や、お客様の商品開発プロセスへの貢献を加速させています。その原動力となっているのが、**SteelLinC®**の理念を支える3つの要素「**MAESTRIA®**」(マエストリア)、「**XSTEELIA®**」(エクスティーリア)、「**SYNERGIA®**」(シナジア)です。

製造実力



MAESTRIA® マエストリア
Passion, Innovation, Perfection

MAESTRIA®とは熟練者や精通者を意味する「MAESTRO」(マエストロ)が語源で、棒線を生み出す製鉄所の先進技術力と現場力を表しています。安全・安心を支える一貫品質管理とトレーサビリティシステム、多様な鋼種メニューを実現する材料設計技術とばらつきのない製造技術、複数製鉄所による安定供給体制、先進技術を駆使したもののづくりの現場を支える人材の育成など、製造実力に磨きをかけています。



顕微鏡での外観検査を指導中
ものづくりの現場では、一人ひとりの技能向上を図る人材育成に力を入れている。

ハイエンド商品群



XSTEELIA® エクスティーリア
Catalyst for Steel Innovation

XSTEELIA®とは「EXTREME」(エクストリーム)、「EXCELLENCE」(エクセレンス)、「EXCEPTIONAL」(エクセプションナル)、「EXPERT」(エキスパート)の4つの価値を体現する、新日鉄住金のハイエンドな棒線商品群の総称です。過酷な加工条件や使用状況にも耐える性能を発揮するため、世界最高水準の卓越した技術を駆使して、鉄の可能性を極限まで追求しています。また、鉄づくりに精通した技能者たちが完成度を高める品質管理を行い、専門技術と総合力でお客様の信頼に応える豊富な鋼種・サイズの棒線商品を供給しています。



棒鋼(上)と線材
豊富な鋼種・サイズで高度化・多様化するニーズに応えている。

鋼材×工法



SYNERGIA® シナジア
Creating Smart Solutions

SYNERGIA®とは、相乗作用や共同作用を意味する「SYNERGY」(シナジー)が語源です。新日鉄住金の鋼材とお客様での加工方法との掛け算「鋼材×工法」によって、新たな製品価値を生み出すソリューション・プロダクトを総称しています。

例えば技術開発本部では、実際に鋼材を使って鍛造したときの負荷や形状などを確認できる試験設備を保有しています。また、FEM*解析技術を駆使して材料に加わる力などを計算し、お客様と工業生産が可能な加工性を持った鋼材を共同開発することもできます。このように新日鉄住金は、お客様の工程省略や部品トータルコスト低減に寄与する鋼材とソリューションの一体提案を行っています。



鍛造試験機
鋼材とセットで工法をシミュレーションして不可能を可能にする。

* FEM(Finite Element Method) : 数値解析法の一つ。物体を小さな要素に分割し、それぞれの要素に負荷される力や変形の計算結果を足し合わせることで、全体の挙動を近似値として求める手法。